

麦の生育と管理

令和8年3月号

宇佐市農政課 / 大分県北部振興局集落営農・水田畑地化第一班



●麦の栽培管理：排水対策（排水溝の点検・整備）

1月は、平年に比べ冷え込みが厳しく、降水量が著しく少なかったことから、麦の生育も停滞傾向にあります。

そのため、今の時期に麦踏み、土入れ、追肥等の基本的な管理を行ってください。

3か月予報（福岡管区気象台1月20日発表）では、3月以降は寒波の影響を受けにくく、気温は平年並か高い、降水量はほぼ平年並の見込みとなっています。

3月は、気温の上昇とともに降水量も増加する傾向にあり、麦にとっては茎立期以降、草丈が伸びる、生長が著しい時期になります。茎立期～出穂期～登熟期まで、排水不良により根がダメージを受けやすい時期でもあります。

雨が降る前に圃場の排水状態を再確認しましょう。

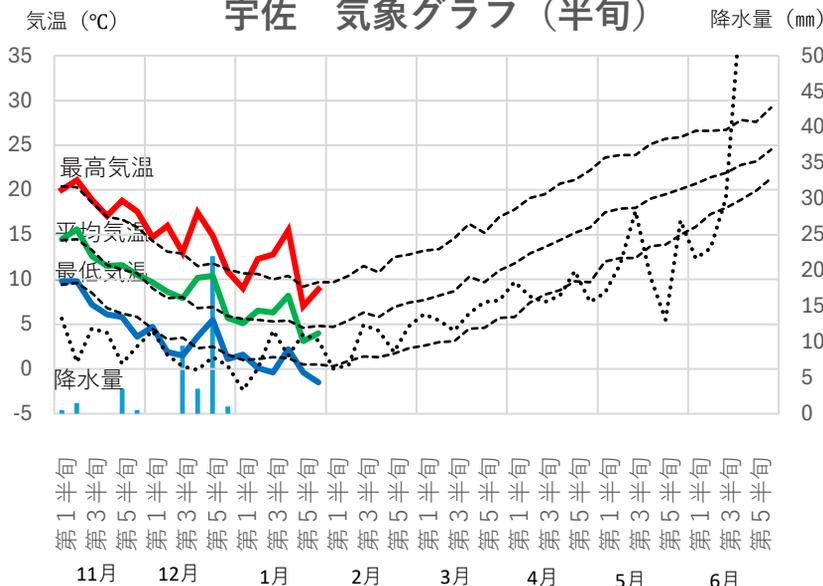
ポイント

- ・額溝と排水口を繋げる。
- ・定期的な溝さらい。(機械作業後など)
- ・根を元気に育てるために
湿害を起こさないことが重要!!



湿害で葉が黄化した麦

宇佐 気象グラフ (半旬)



●穂肥の散布

穂肥には、子実重やタンパク質含有量を増やす効果があります。

収量確保のため、**茎立期（7葉期ごろ）**を迎えたら穂肥を施用しましょう。

【10aあたり穂肥の施肥量（例）】

| 麦の種類 | 化成肥料 (16-0-16) | 施用時期 |
|-------------------|----------------|--------------------------------|
| 大麦、裸麦、小麦 (チクゴイズミ) | 15kg/10a | 茎立期 (幼穂長20mm頃) 2月下旬～3月上旬 |
| 小麦 [パン用] (はるみずき) | 30kg/10a | |

幼穂長
約3mm

幼穂長
約25mm



●雑草防除の徹底

3月以降、気温が上昇するため、雑草の生育も早くなります。雑草を見つけたら早めに防除しましょう。雑草が大きくなりすぎると除草剤の効果が著しく低下するため、薬剤での防除は期待できません。雑草の生育が旺盛になると、麦の生育は抑制され、収量・品質の低下を招きます。収量・品質の向上のため、雑草防除は適期に行いましょう!!

今年圃場で発生している雑草の種類を確認し、来年度、除草剤を選ぶ際の参考にしましょう。



ヤエムグラ



ミチヤナギ

- ・除草剤は雑草の種類によって効果が異なります。
- ・現在、特定の雑草が残っている場合は、初期除草から生育期除草までの除草剤の種類を見直すこともご検討ください。

例えば

今年良く見かける「ヤエムグラ」と「ミチヤナギ」の場合

初期除草剤とトレファノサイド乳剤の混用（播種後出芽前または生育期の全面土壌散布）で効果がみられた事例があります。

●水稻育苗における種子の取り扱い

令和7年産に用いられた種子は、登熟期間が高温であったことから、例年より休眠がやや深い傾向にあり、出芽の遅れやばらつきが発生していました。今作に向けて、浸種・催芽を行う際は、以下の点に注意してください。

- 浸種水温
 - ・10℃以下での浸種は、2次休眠（種子が再び休眠状態になる）を引き起こす可能性があるの
で注意が必要です。
- 積算温度
 - ・浸種する水温と時間を調整し、積算温度（水温×浸種日数）をやや高く（120℃～130℃程
度）しましょう。
- 催芽温度
 - ・催芽（発芽を促進）を行う際の温度は、高すぎると芽の揃いが悪くなるため、28℃～30℃
程度に抑えましょう。

農業情報メール配信の登録募集！

～米・麦・大豆の栽培管理情報をいち早くキャッチしよう！～

★ 登録方法 ★

配信受付メールアドレス syuraku-hokubu@pref.oita.jp

件名または本文に宇佐市 氏名を記入して、配信受付メールアドレスにメールを送信してください。
差出人のメールアドレスに農業情報を配信します。